

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域のつきあい 地域との連携が浅く、まだ事業所の取り組みや内容などの認知度が低いため、なじみの関係作りが必要となっている	運営推進会議にて、事業所の活動内容や取り組みを詳しく報告する。地域行事にも積極的に参加し顔なじみの関係を作る	運営推進会議を活用し事業所での取り組みを詳しく説明し理解してもらおう。回覧板や公民館へ広報紙を掲示してもらい、地域の多くのへ知っていただく。地域行事にも積極的に参加させていただく	12ヶ月
2	35	○災害対策 防災訓練を実施しているが、近隣住民等との連携や協力体制が構築できていない	地域で行われる防災訓練の参加と協力体制の構築	地域で行われる防災訓練へ参加し、事業所を知っていただく。また、事業所の防災訓練へ参加していただきどのようなサポートが必要か理解していただく機会を作る	12ヶ月
3	37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活での自己決定に個人差があり全てのお客様の思いが引き出せていない	声掛けやケアの方法を統一しお客様の「思い」を引き出し活かせる雰囲気作りを行う	アセスメント活用し「できる事」「できない事」を見つけ、記録へ残し、カンファレンスを通し職員間でケアの方法の統一を図る	12ヶ月
4	48	○役割、楽しみごとの支援 開所1年が経ち、お客様の状況も変化している為、「今」必要な事を新たに見つけ考えていく必要がある	日々の関わりの中での変化や言葉を記録へ残し、お客様の様子がわかるよう居室担当者がまとめ共有する	記録を具体的に記入し1か月に1回まとめ、カンファレンス時に職員間で話しをしお客様一人ひとりの気持ちを理解し役割や楽しみごとを行っていく	12ヶ月
5	51	○電話や手紙の支援 お知り合いや親戚の方への交流へ個人差がある。大切な方への交流を差がなく支援する必要がある	ご家族や知人の方への電話や手紙での交流を行い、繋がりを維持していく	ご家族、知人の方などの協力を得ながら定期的に電話で会話を楽しむ。手紙やはがきも季節毎に送り、近況報告をする	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。